

競 技 役 員

総務	高木三朗
総務員	戸上信二郎・富永芳弘・千々岩繁・米田光宏・平山浩継・立山智恵
審判長	池田祐一（トラック）・家入春三（跳躍）・立山雅浩（投てき）
技術総務	早瀬 孝
役員受付	岡 良子・早瀬 宏・二宮和民・岩本やす子
記録・印刷	宮崎信一（兼）・相島憲輔・藤波千鶴子
情報処理員	西口賢士・加茂田憲治・松田純一・池田将文・森 聡史・羽田聡美
アナウンサー	小田原 晃・三浦さゆり・中田智子・深水響
競技者係	田代一行・一ノ口武俊・高森聖樹・田中峰子・大川内明美・星田章広・松本康平
兼出発係	平川貴浩・三森孝一・佐伯 元・東芙三子・光神美咲・稲浦秀明 松森安宣・浦本浩二・井上美幸・原峻平(兼)
風力計測員	山口真一郎・貞永健剛・中村泰介・内尾裕康
周回記録 （兼決勝）	吉野宏幸・前田利春・植松 誠・宮崎信一（兼）・増浪 誠（兼） 岩永光弘・梶本健一郎
写真判定員	高木三芳・中村一成・田中真一・中村大樹・沢田玲香・宮本怜旺
スターター	新村ちなみ・高橋伸明・岡村俊和・上田晃裕・守田朗裕 松本祐樹・森 孝文・日置智範・富崎慧成・岩崎佳奈・倉田隆輔
監 察 員	池松祥次・番山力男・村上 理・鹿子木洋一・村本崇司・佐枝幸憲・大塚 亘 緒方秀壽・鍋田政志・武田雅裕・松村純一・村上康介
跳躍審判員	笠原裕之・宮崎靖久・高倉主一郎・猿渡功治・森 大輔・橋口 嵩 徳本康輝・松岡渡・中松大寿・鈴木善貴・本多良介・小柳修司・金子智哉 小柳文香・津留幸江・中元愛理・白野照夫・瀧川真吾・平田道則・酒井朋之 山崎圭三・松島喜一・松島智美・田代基弘
投擲審判員	境 祥子・安永卓仁・中村正太・堤 佳世・原田恭宏・白石敏雄・中村龍介 小多 忠・緒方 玲・井上達晃・浅野和正・川口浩輝・有田大将・後藤孝嗣 甲斐秀文・奥園征治・三重野哲平・吉川巧哉・塚本昇竜
競歩審判員	宮崎信一・山口真一郎(兼)・岡田紀之・山田雅仁・原峻平(兼)・倉原菜摘
用器具係	白武助廣・沢田 修
補助員係	沢田 修(兼)
医 務	今村友則・横井亮祐

補 助 員	大 津：用器具 10	熊本中央：跳躍 5
	熊本西：投てき 5	熊本北：スターター 4 出発 4
	東 稜：競技者係 3 ナンバーカード 3	九 学：跳躍 3
	玉名工：出発 5 ナンバーカード 2	秀岳館：跳躍 5
	濟々鬘：跳躍 3 周回 3 投てき 5	第 二：風力 3 跳躍 2
	国 府：投てき 3	熊 本：庶務 2
	必由館：情報処理 3 記録 2	小川工：投てき 3
	開 新：跳躍 3	宇 土：競技者 3
	翔 陽：出発 2	八 代：出発 3 アナウンス 4
	球磨工：投てき 5	熊本工：投てき 5
	慶 誠：写真判定 3 用器具 8	

競 技 注 意 事 項

1. 規則について
本大会は2018年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会の申し合わせ事項による。
2. 練習について
競技の練習は補助競技場及び室内練習場で行うこと。
3. 招集について（招集場所は各々競技開始場所とする。）
 - ① **第1コールは、不参加および棄権がある場合のみ**、所属団体別に代表者が各種目の競技開始1時間前までに情報処理室（ゴール側砂場前）へ届け出ること。
 - ② 第2コール（最終コール）の時刻には選手本人は競技開始場所に待機し、ナンバーカードを見せ確認を受ける。コールに遅れた者は棄権とみなす。
 - ③ 代理人による招集は認めない。ただし、同時刻に2種目以上の競技に出場するものはあらかじめ、そのことを本部（108）に申し出ること。この場合、早く開始される競技の招集は決められた時間に行うこと。

競技種目	招集時刻
トラック競技	10分前
フィールド競技	30分前(棒高跳は60分前)

4. ナンバーカードについて
出場選手は、ナンバーカードを胸背部につける。
なお走幅跳・走高跳・棒高跳は胸背部のいずれか一方だけでもよい。
腰ナンバーカードは5000mW・800mと小学生100m・小学生800mのみ招集時にスタート場所で受け取り両腰横につける。
5. 競技について
 - ①トラック競技は全て写真判定（全自動電気計時装置）を使用する。
 - ②スターターの合図は「On Your Marks」「Set」とする。
ただし、小学生100m・800mは、日本語（「位置について」「用意」）で行う。
ハードル種目以外はスタート前はブロックセットのみとする（スタート練習は行わない）
 - ③800mについてはグループスタートで行う。
（ただし男子の1、2、3組と女子の1組はセパレートで行う。）
 - ④投てき競技は3回試技後、記録上位者8名により残り3回を行う。
 - ⑤走幅跳は2ピットで3回試技のみ行う。
6. 使用器具について
競技場備え付けのものを使用する。但しポール・やりについては規定のものであれば使用してもよいが、競技開始前に現場で検定を行うので申し出ること。
7. その他
 - ①スパイクのピンの長さは、9mm以下、フィールドの走高跳・棒高跳・やり投げのみ12mm以下とする。
 - ②事故については応急処置のみ行い、以後は各参加校の責任において処置すること。
 - ③競技進行をスムーズに行うため、トラック競技における選手紹介のアナウンスは行わない。
また、スタート準備においても前組がスタート後、速やかに行うこと。
 - ④競技結果については熊本陸協ホームページに掲載する。
URL <http://www.kumariku.org>
 - ⑤競技場・駐車場の開門時間は7:30からとする。また、競技場周りは駐車禁止とし、駐車は投てき場横調整池を使用すること。（弁当のヒライ側、墓地横から出入りすること）